

ゆりかごだより

2021.6月発行 No.52



今年は記録的に早い梅雨入りとなり、あじさいの花も早く色づき始めたようです。5月の病児保育室ゆりかごは、感染性胃腸炎や発疹・退院後の療養などのお子さんのご利用がありました。体調も落ち着いており、手作りおもちゃを上手にアレンジして遊んでくれる姿に感心しました。梅雨の時期は温度・湿度ともに高くなり体調を崩しやすくなります。健康・衛生面に注意して過ごしましょう。

お子さんのマスクどうしていますか？

後篇

※2歳未満のお子さんにマスクは不要です

感染防止には不織布マスクが推奨されているけれど…

不織布マスク…
布マスク…

いいサイズがない



子ども用マスクはまだそんなに安くないのでその都度交換は難しい

- 汗で蒸れる・嫌なおいがする
- 唾液や鼻水ですぐにびちょびちょになり子どもが嫌がる

…などの理由で、**布マスク**を使っているお子さんも多いと思います。咳などの症状がある場合や、人が集まるような場所では、なるべく**不織布マスク**を使うなど、**場面ごとの感染リスク**によって使い分けましょう。

暑い時期のマスク着用はおとなでも大変…熱中症も心配…



あつい～

マスクも衣替えをしましょう

- 顔のサイズに合った、口元に余裕のあるものを選んであげましょう。
- 布マスクは、口に張り付きにくい生地がおすすめです。(コットン・リネン・リッフルなど)
- しっかり洗って、梅雨の時期は特によく乾かし、いつも清潔にしましょう。
- 毛羽立ってきたり、ゴムが伸びてきたりしたら新しいものと交換しましょう。



人が集まる場所にはなるべく行かないようにし、マスクを外す時間を増やしましょう
マスクの着用は今しばらく求められそうです。お子さんが少しでも快適に過ごせるように工夫してあげてください。

看護師より

～食中毒くウェルシュ菌～

食中毒が心配な季節になりました。原因となる細菌やウイルスはいろいろありますが、今回はウェルシュ菌についての注意点を紹介します。

ウェルシュ菌って？

- ヒトや動物の腸内や、土、水など自然界に広く分布
- 熱に強い
- 40～45℃で急激に増殖し、空気を嫌う
- 特にカレーやシチューなど煮込み料理に注意



症状は？

- 原因となる食材を食べてから6～18時間で腹痛や下痢などの症状が出る
- 嘔吐や発熱はあまり見られず、1～2日で回復



ここに注意！

- 調理中はよくかき混ぜる
- 早めに食べきり、常温に長く置かない
- 保存する場合は素早く冷ます
- 小分けにし、冷蔵庫に保存



訪問型病児保育はこちら▼

堺市訪問型病児保育センター



病児保育室ゆりかご

お問い合わせ・事前登録のご予約はこちらから ▶ ☎ 072-234-6880

[受付時間] 平日 8:00～18:00

〒599-8247 堺市中区東山 1042-1

<http://yurikagonetwork.com/hoikushitsu/>

ホームページはこちら▶

